

自治委員会総会感想文回答

2016年度前期自治委員会総会の感想文用紙には、多数の意見・質問が寄せられました。寄せられた意見・質問の一部に対して、学生自治会からの回答を掲載します。
※意見・質問は原文をそのまま掲載しています。

<決議案提議>

Q1. 要望書に関する活動に「要望書の提出」とあるが、その後の返答や実際に要望が実現したものなどについても教えてほしい。また、要望書の提出だけでなく、それを実現させるために自治会は何をしたのかなどもよりくわしく教えてほしい。

(生命環境科学域 自然科学類 2回生)

A1. 学生自治会は、2015年度後期自治委員会総会において承認された要望書を大学に提出しました。要望の実現をはたらきかけるには、要望の切実さや重要性、実現の必要性を伝えることが有効であると学生自治会は考えます。それらを伝える場として、要望書説明会を開催できるように大学と日程調整を行いました。大学の日程が合わなかったため、要望書説明会を開催できませんでした。また、2015年度後期自治委員会総会において承認された要望書に対する回答は2016年6月30日現在返ってきていません。なお、学生自治会は引き続き要望書説明会を開催できるよう、大学側と日程調整を行います。

Q2. 府大・市大統合の具体案が分かり次第、すぐに学生の耳に入るようなシステムをつくらせてほしい。

我々にとってとても大きな変化をもたらすことになるかもしれないので。

(工学域 電気電子系学類 1回生)

A2. 学生自治会は、府市大統合に関する情報を収集し、府市大統合について大きな動きがある場合には『Twitter』や自治会総合情報誌『NASCA』などを通して学生のみなさんに対して情報宣伝を行います。

Q3. 「学外団体との交流」で「東京大学教養学部」の学生自治会との話し合いをなぜすることになったのかという理由を教えてください。また、東京大学がなぜ大阪府立大学を選んだのかということも教えてください。

学生自治会のtwitterの有効性は理解できたが、1ヶ月に少ししかツイートしない理由が発言になかったので、その所を明確にして欲しい

(工学域 機械系学類 4回生)

A3. 東京大学教養学部学生自治会は、大阪府立大学中百舌鳥・りんくうキャンパス学生自治会のウェブサイトから活動を知ったそうです。また、東京大学教養学部学生自治会は、学外からの干渉を受けていない学生自治会である大阪府立大学中百舌鳥・りんくうキャンパス学生自治会との情報交換を行うことでお互いの活動の参考になると判断し、話し合いを提案したそうです。大阪府立大学中百舌鳥・りんくうキャンパス学生自治会はこの提案を受け、他大学の学生自治会と実情や活動について情報交換を行うことで活動の参考になると判断したため、話し合いの提案を受諾しました。

学生自治会公式アカウントをフォローしている人数の変動は大きくありません。そのため、同じ内容のTweetを何回もする意味がないと学生自治会は判断しました。また、『Twitter』のユーザー画面またはウェブサイトから学生自治会の過去のTweetを見ることができますが、重要度の低いTweetをしていると重要度の高いTweetが流れてしまいます。そのため、学生自治会では『Twitter』での情報宣伝内容について制限していました。しかし、今回の感想文では、同様の意見が多数寄せられたため、『Twitter』での情報宣伝について、再度検討を行います。

<決算報告・予算案提議>

Q1. 入学辞退による自治会費の返還とありますが、具体的にどうやってなったのかがわかりません。

笹の葉祭への予算がおりた経緯を教えてください。

(生命環境科学域 自然科学類 3回生)

A1. 3月の入学手続き時、返還対象の方には学生自治会に加盟していただきました。しかし、その後返還対象の方が大阪府立大学への入学を取り消したため、加盟の際にお預かりした自治会費の返還を行いました。

大学祭で学生が楽しむことは、よりよい学生生活に繋がると学生自治会は考えています。笹の葉祭においてもこれは当てはまり、また適正な会計が行われているため笹の葉祭実行委員会への援助に同意しました。

Q2. りんくうキャンパスでの活動を拡大すると言ってましたが、どのような活動をするつもりですか。

(生命環境科学域 自然科学類 4回生)

A2. 決議にもあるように、今年度はより学生の実情に即した要望書の作成を目指し、学生に向けたアンケートの実施回数を増やす予定です。学生自治会は、りんくうキャンパスに在籍する学生に対してもアンケートを実施します。

Q3. 執行率が約0.7だった事務経費、コピー、印刷機等維持費等は予算でも金額が変わっていないのはおかしいと思った。執行率がそれだけ低いのであれば減額すべきなのでは？

(生命環境科学域 自然科学類 2回生)

A3. 事務経費に関しては、昨年度のOA機器諸経費と統合したうえで同額としており、実質的には減額となっています。コピー・印刷機等維持費に関しては、印刷機のマスターやインクといった物品の在庫を考慮し昨年度は物品の購入回数を減らしたため、執行率が低くなりました。これを踏まえて今年度は物品の購入回数が戻ると考え、減額はしませんでした。

Q4. パソコンを2台導入した理由とそのパソコンが用途に適したものだかどうかの解答がいまいちはっきりしなかったので、より明確に説明してほしいです。

(工学域 機械系学類 3回生)

A4. 学生自治会では学生自治会情報誌『NASCA』の記事作成や、学生自治会が運営しているウェブサイトの管理などの業務を学生自治会室のパソコンで行っています。パソコンが1台だけでは業務に滞りが出てきてしまうため、2台で業務を行っています。また、パソコンが前回の購入から5年以上経過しており、セキュリティの強化や次の買い替えまで使用していくことを考慮し、適切なものを購入しました。



**2016年度前期自治委員会総会への多数のご参加、
また多数の意見・感想ありがとうございました。
掲載できなかった意見につきましても、
学生自治会の今後の活動の参考にさせていただきます。
これからも学生自治会をよろしくお願いいたします。**

